

**公益社団法人
NEXT VISION
2022年度事業計画**

2022.3.6

Our Mission

**情報障害者をゼロにする
失明しても失望をさせない**

視覚障害者をはじめとした
情報へのアクセス障害を持つ人々が
Well Beingな状態（**自分らしさ**）を取り戻すため
に

必要な**情報**を入手や検索できない状態を無くし
Well Beingな社会（誰も取り残さない）の創出

課題 支援環境

97%が連携の必要性あり

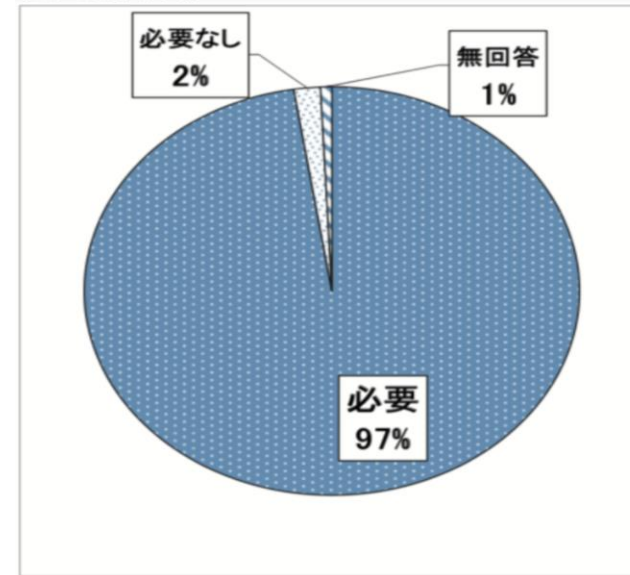
厚労省の報告によると組織連携の必要性を質問した調査

支援施設に**たどりつけない**

たどりつくまでの**時間を要す**

必要な情報を受け取れず**失望**

【連携の必要性(全体平均)】



厚生労働省平成29年度障害者総合福祉推進事業視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究

👉 ワンストップの包括的な情報提供の場
リアル（偶発性）、オンライン（アクセス性）

課題 職場環境

企業：
障害者への就労提供義務
合理的配慮の提供義務

障害者雇用促進法

雇用が難しい障害種別：

視覚障害 79.9%

精神障害 70.9%

知的障害 58.7%

独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 障害者職業総合センター
2008

 視覚障害者の就労の機会・可能性の拡大

市場

視覚障害者人口：約31.2万人

厚生労働省の調査（視覚障害の身体障害者手帳所持者数）

国内視覚障害者の人口：

2007年 約164万人（矯正0.5未満）

LV者 144万9千人、社会的失明者 18万8千人（0.1未満）

2030年 200万人

日本眼科医会 2007年 推定値

 **LV者、軽度視覚障害者への情報提供**

視覚障害のコスト (日本,2007)

直接経済コスト: 実際に医療費(など)としてかかるもの

- 医療費 + 介護保険料 + 視覚関連研究費 = **1兆3,382億円**

間接経済コスト: 視覚障害による生産性の低下や社会によるケアのコスト

- 生産性低下(雇用率低下、欠勤、早死、課税収入減など) + 社会によるケア(公的年金、手当、視覚障害施設費用、補装具、地域ケアなど) + 死荷重(政府が税収減を補うために他に課税することによる市場の歪み、非効率分) = **1兆5,835億円**

疾病負担コスト: 視覚障害によるQOLの低下(個人の負担)

- DALYs × VSLY (Value of Statistical Life Year) = **5兆8,636億円**

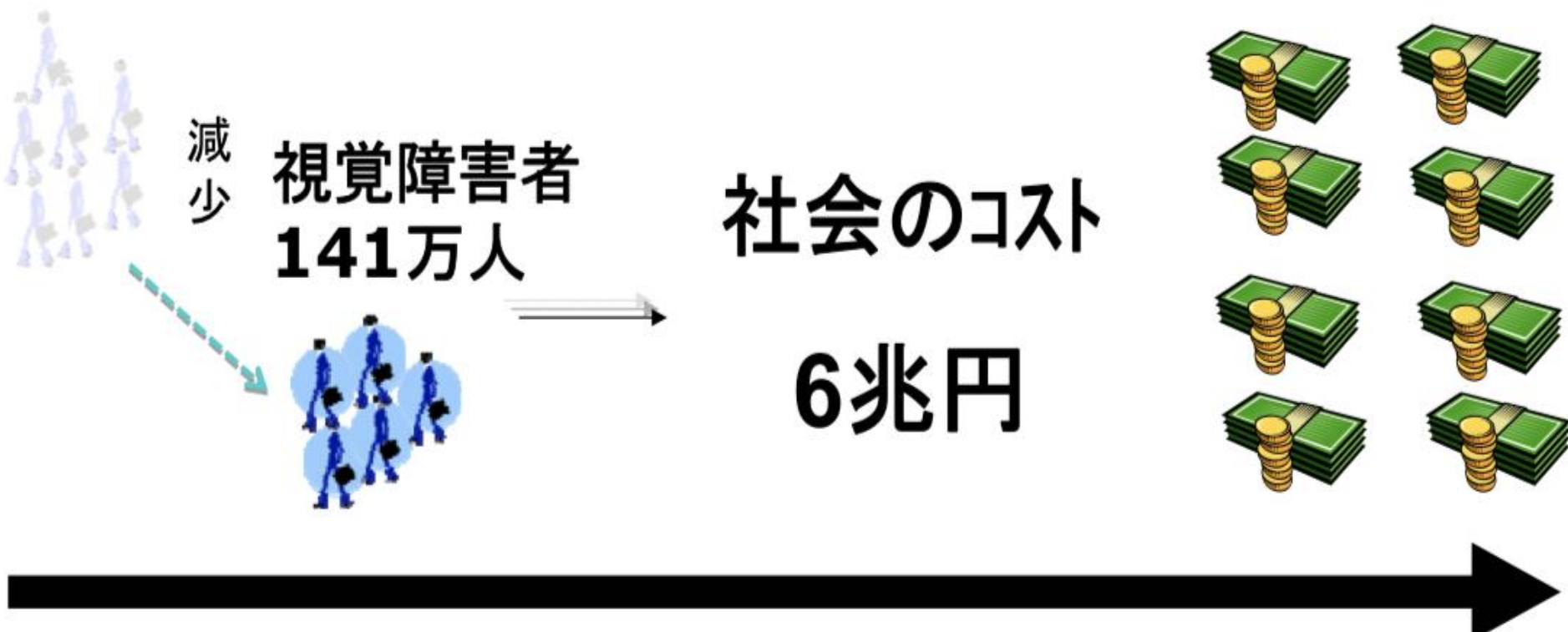
計 **8兆7,854億円**

日本眼科医会は2007年の推定値

2030年 (30%視覚障害者を減らすことができれば)

対策

- ・予防や早期診断に対する国民意識の向上
- ・より積極的な治療、ロービジョン・ケア
- ・新しい研究やテクノロジーの導入



継続的なシステム作り

・寄付者へのリターンの自動化・徹底

1) お問い合わせ（一枚スライド作成）

2) 感謝（Thank you mail）

3) 報告（成果報告＋お問い合わせ）

 支援者へ成果達成状況の情報提供

 継続支援への意欲維持の自動化

 スポット、継続者リスト作成

WB達成の目標値

・データ集め（成果の可視化）
NV版 Well being 評価

質問内容：

WB（**自分らしさ**）調査：

イベント参加前を50として

参加後の生き生き度：0-100で評価

新基準；自分らしさ（やりたい事が出来る）

氏名、世代（任意記載）

 **WB達成度によるPJ評価と優先順位検定**

情報障害者をゼロに i see! 運動

個人への 情報処方

当事者向けセミナー
担当仲泊・山田

ロービジョンの集い
担当山田

フロアレンタル
担当山田

相談コーナー
担当山田

クライミング
担当三宅

眼球運動異常による読書困難
の色フィルターによる支援
担当仲泊

視覚障がい者職域拡大
プロジェクト
担当仲泊

心の眼プロジェクト
担当初瀬・山田

持続支援を 行うための活動

ポイントマスター！行間セミナー
担当仲泊先生

ビジョンパーク会議・広報戦略
担当山田

ワーキングアワード・事業化
担当和田

日本眼科医会連携
担当三宅

サンキューカード
担当山田

ロービジョン支援・HP運用
担当仲泊

遠隔支援
担当仲泊

シャルル・ボネ展
担当仲泊

社会への 情報処方

ロービジョンセミナー
担当仲泊

視覚障害者体験VR研修
担当三宅

ウェルビーイング医師
パッチ・アダムスの哲学に
ケアの本質と対話法を学ぶ
担当三宅

G-1グランプリ
担当三宅

JR西日本
担当仲泊

ナビゲーション・タグで
未来を変えるプロジェクト
担当山田

「プライベートあい」
プロジェクト
担当福場・山田

ビジョパークチャンネル

■担当：三宅

■WHAT：遠隔での当事者、家族、支援者への情報提供

■WHO：FB、YouTubeが閲覧可能な人

■WHY：地域性による情報格差の軽減

■WHEN：不定期、終了予定なし

■WHERE：ビジョパーク内及び外部貸会議室、zoomなど

■HOW：公式Facebookでのzoomライブ配信および終了後動画アップ、著名人応援メッセージ、ICT情報、専門家対談等

■HOW MANY：4－6回程度/年

■HOW LONG（評価期間）：3ヶ月ごとの内容確認

成果目標：各動画の再生回数 500回以上

行動目標：最新のICT機器事情、当事者対談等多様な話題提供を、視聴者のフィードバックも踏まえて放送内容を検討する。HPや講演等での情報提供頻度強化

研修

■担当：山田

■WHAT：より良く生きるために必要な「生きるチカラ」に気づき、学ぶ。目が見えない・見えにくい方だけでなく、すべての方がいつも自分に自信を持ち、活躍できるように就労や教育の枠にとらわれず、スポーツ・アートなどさまざまな分野のセミナーを開催する。お一人お一人が苦手とすることを解消するためのリハビリテーションや社会参加に寄与するような有益な情報を発信する。

■WHO：すべての方

■WHY：個人・企業への情報ゼロの状態の軽減。

■WHEN：終了予定なし

■WHERE：ビジョンパーク、Zoom

■HOW：それぞれの分野の専門家に依頼し、セミナーを開催する。

■HOW MANY：年間2,095人

■HOW LONG（評価期間）：随時

心の眼プロジェクト

■担当：初瀬・山田

■WHAT：「視覚障害」のリアル、「視覚障害者」の日常やハートを言葉として切り出し、ラッパーの晋平太と共にラップに落とし込み、これまでタブー視されてきた障害にラップを通じて対話することで障害受容と理解を促す。

■WHO：参加者募集：10名。視覚障害者、支援者、家族などさまざまな立場から募集する。

■WHY：潜在的な視覚障害者のカミングアウトを促し、インクルーシブな社会の実現を目指す。

■WHEN：6回／年

■WHERE：ビジョンパーク、Zoom

■HOW：ラップ制作 晋平太と参加者が一人一人の思いを言葉にしなが
ら、作詞をする。

■HOW MANY：イベント参加500人、YouTube配信20万人

■HOW LONG（評価期間）：随時

■担当：三宅

■WHAT：eスポーツ実施やゲームアクセシビリティの知識処方

■WHO：リアル・オンラインでの参加者（当事者・健常者含む）

■WHY：ゲームによる自己肯定感増進、コミュニケーション活性化、社会接続機会の増加による社会的・心理的回復

■WHEN：時期未定

■WHERE：ビジョンパークから配信

■HOW：ファミコンミニやスーパーファミコン、プレイステーション等のアクセシビリティ機能の紹介、活用事例発表、オンラインゲーム大会等

■HOW MANY：2回/年

成果目標：各動画の再生回数 500回以上

行動目標：障害種別を超えた参加者を集い、ゲームによる対話文化を作る。

- 担当：三宅・山田
 - WHAT：アクティブエリアでの当事者への運動の機会処方
 - WHO：アクティブエリアに訪問可能な人
 - WHY：運動による健康増進、社会的・心理的回復
 - WHEN：1～2回／年 ※定期開催についてはコロナ収束後に検討
 - WHERE：オンライン（Zoom）
 - HOW：クライミングの魅力を伝えるトークイベント（無料）を開催
 - HOW MANY：1～2回／年
 - HOW LONG（評価期間）：定期開催についてはコロナ収束後に検討
- 成果目標：WBスコア改善
- 行動目標：クライミングリアルイベント開催時の参加者誘導（興味
の
持続と新規開拓）

視覚活用訓練

■担当:仲泊

■WHAT:視覚活用訓練

■WHO:視覚障害当事者（特に視野障害を持つ人）

■WHY:視野障害支援のオプションが少ない。眼球運動と意識の持ち方により、視野欠損を自覚し、それまでに使っていなかった視野を有効活用できるようにする。病院の運転外来事業を情報提供の立場からサポートする。

■WHEN:通年

■WHERE:ビジョンパーク

■HOW:原田敦史理事を講師として、視野障害により損なわれた日常生活における動作を、より安全に効率よく行えるようになることを目標に眼球運動訓練等を行う。効果判定にはMNREADJによる読書速度と視線視野計による総合得点およびLVFAM等の日常生活アンケートを用いる。毎回3名を限度とした有料研修生を認める。

■HOW MANY:参加者4人/1回/月・研修生3人/1回/月

■担当：山田

■WHAT：当事者、家族、支援者への情報提供、情報交換

ロービジョンの方の生活を多角的に支援するため、ロービジョンの方を対象とした座談会、相談会を開催し、社会資源の活用方法や補助具等に関する各種情報提供、同じ症状に苦しむ患者同士のコミュニケーションの場の提供等に取り組む。

■WHO：視覚障害のある方、その家族、支援者など

奇数月：10名程度×6回、偶数月：100名程度×6回

■WHY：情報ゼロの状態の軽減、相談機会の増加

■WHEN：毎月1回、終了予定なし

■WHERE：ビジョンパーク、オンライン（Zoom）

■HOW：さまざまなテーマで座談会形式による情報交換・共有を行う。
参加費無料。

■HOW MANY：12回/年

相談コーナーの運営

- 担当：山田
- WHAT：情報提供と相談。外部機関・団体への橋渡し。
- WHO：視覚障害のある方及びそのご家族など
- WHY：情報ゼロの状態の軽減、相談機会の増加、対面面談の価値、施設関連連携
- WHEN：通年、終了予定なし
- WHERE：ビジョンパーク
- HOW：患者団体・支援機関など連携機関に協力を依頼し、ビジョンパークでアウトリーチ活動を行っていただく。相談無料。オンラインによるテクノロジー支援（iPad貸出）
- HOW MANY：100件/月 年間1200件

遠隔相談

■担当：仲泊

■WHAT：遠隔支援サービス

一般眼科に通院する視覚障害者に対してテレビ電話を介して情報提供を行う。

■WHO：視覚障害のある方

■WHY：情報ゼロの状態の軽減、相談機会の増加

■WHEN：通年、30分／回

■WHERE：全国の高額寄付者の所属する眼科医療機関

■HOW：ロービジョンケア専門の眼科医と福祉専門家をテレビ電話で
提供

・遠隔クリニックとの連携

■HOW MANY：40件/年

眼球運動異常による読書困難の色フィルターによる支援

■担当：仲泊

■WHAT：眼球運動異常による読書困難の色フィルターによる支援

■WHO：読書困難を訴える方（小児を含む）

■WHY：適正な読書環境を提供するため

■WHEN：通年

■WHERE：ビジョパーク、神戸アイセンター病院

■HOW：ビジョパークを訪問した者、神戸アイセンター病院眼科LV外来等を受診した患者に対し、疾患に関する聞き取りとともに、眼球運動と読書速度を測定し、色フィルターによる改善が見られるかどうかについて検討する。中央市民病院のIRBを通した後に行う。

■HOW MANY：20件/年

視覚障害者の転落事故低減を目的とする電子歩行補助具の路面環境情報伝達法に関する研究

■担当：仲泊

■WHAT：視覚障害者の転落事故低減を目的とする電子歩行補助具の路面環境情報伝達法に関する研究

■WHO：視覚障害のある方

■WHY：空間情報提示装置により視覚障害者のホーム転落を防止する

■WHEN：通年

■WHERE：ビジョンパーク他

■HOW：九州工科大学との共同研究で開発した前方の落ち込みを検知し知らせるスマート白杖の効果を評価する

■HOW MANY：24人/年

視覚障がい者職域拡大プロジェクト 強みを生かす！視覚障がい者、活躍の場の拡大へ

■担当：仲泊

■WHAT：視覚障がい者職域拡大プロジェクト 強みを生かす！視覚障がい者、活躍の場の拡大へ

■WHO：視覚障害のある方

■WHY：一般会社に就労する視覚障害者の活躍の場を広げる必要がある（isee!workingAwards2022関連事業（石川さゆり氏：資生堂））

■WHEN：通年

■WHERE：ビジョンパーク・資生堂他

■HOW：資生堂との共同研究として、視覚障害者による営業のノウハウを蓄積する

■HOW MANY：2人/年

視野障害を有する者に対する高度運転支援システムに関する研究 (運転外来)

- 担当：仲泊(山田)
- WHAT：視野障害を有する者に対する高度運転支援システムに関する研究（運転外来）
- WHO：視野障害のある方
- WHY：運転を制限するだけでなく技術で問題を解決し、視野障害があっても安全に運転できるよう指導し、社会の理解を促す。
- WHEN：通年
- WHERE：ビジョンパーク他
- HOW：研究全般のサポート、啓発セミナー・イベントの企画
- HOW MANY：500人/年

公2-二 コンテスト事業 間接支援(個人への情報処方) isee! Working Awards 2023

■担当：和田

■WHAT：ロービジョン者の社会参加を広く促進していくためには、ロービジョン者との事例を集めて、それを受ける側が、ロービジョン者の生活を支えるために、ロービジョン者の活躍を促すための事例を集め、それを活用する。そのために、ロービジョン者の生活を支えるために、ロービジョン者の活躍を促すための事例を集めて、それを活用する。

■WHO：視覚障害者に関する全ての市民

■WHY：視覚障害者に対する社会の理解が不十分で就労に困難さがあるため

■WHEN：応募期間：2022年9月～10月 発表式：2023年2月

■WHERE：東京

■HOW：（募集方法）ホームページや法人パンフレットで、目的、内容、募集方法について広く周知する。

（選考方法）医療福祉、セラリングの各分野についての識見を有する専門家とロービジョン者等から構成される有識者会議を理事会決定の上で選考にあたる。

■HOW MANY：20件以上の優秀な事例とアイデアを発表

■HOW LONG（評価期間）：終了予定なし

■成果目標：コンテスト応募件数のup、優秀事例紹介HPのカウンタースコアup及び優秀アイデアの事業化

■行動目標：視覚障害者の就労に関する社会の意識を高めるためコンテストの募集を広く呼び掛け、アイデアを広く周知を図り、アイデアの事業化を推進する。

■担当：山田

■WHAT：サンキューカード制作と配布

ロービジョンの方の移動を多角的に支援するために正しいガイドの仕方を一般の方に周知するとともに、一人でも多く就労・就学で困っている視覚障害のある方を見つけ、必要な情報につなげる活動を視覚障害のある方にお手伝いいただき、活躍の場を広げる。

■WHO：視覚障害のある方

■WHY：視覚障害者自身によるロービジョンについての認知拡大

■WHEN：通年、終了予定なし

■WHERE：全国

■HOW：患者団体・支援機関のほか、配布を希望する視覚障害者にサンキューカードを配布し、視覚障害者は支援してくれた方にサンキューカードを直接手渡す。無料。

■HOW MANY：20,000枚/年

■HOW LONG（評価期間）：50枚/人配布完了時

被災視覚障害者支援・避難所疑似体験セミナー

- 担当：仲泊
- WHAT：被災視覚障害者支援・避難所疑似体験セミナー（AMED新規申請）
- WHO：視覚障害者と一般
- WHY：視覚障害者の防災と視覚障害者の周囲における支援情報を増やすため
- WHEN：応募期間（2022年6月～）研修期間（6～3月の日曜日13:30～16:30で全3回）
- WHERE：ビジョンパーク
- HOW：AMED研究事業（代表：仲泊）に新規申請して、ビジョンパークを避難所に見立て、疑似体験をセミナーとして開催する。スマートフォンによる遠隔支援とともにナビタグを活用した支援方法について検討する。
アドバイザー：原田敦史（堺市健康福祉プラザ）
遠隔支援ガイド：4名
- HOW MANY：5名 x 3回 = 15名

ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート行間セミナー

■担当：仲泊

■WHAT：ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノート行間セミナー

■WHO：視能訓練士および眼科医

■WHY：視覚障害者の周囲におけるロービジョンケア関連情報を増やすため

■WHEN：応募期間（2022年2月～）研修期間（6～3月の第二水曜日18:00～19:30）

■WHERE：ビジョンパーク Zoom併用

■HOW：ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノートの決められた範囲に関する話題で

執筆者および外部講師によるロービジョンケアの勉強会を開催

参加費有料（通年会員のみ・昨年度の動画の閲覧可能）

各回とも一人の講師に12分で切り分けられる2本立ての講演を依頼

最初の30分は昨年度のBasic編を編集して流す（ビジョンパークの広報を入れる）

講演部分はwebに限定公開する

講演講師：ポイントマスター！ロービジョンケア外来ノートの著者（外部所属8名）

■HOW MANY：80名 x 10 = のべ800名（2021年度実績）

ロービジョン支援ホームページの運用

- 担当：仲泊・片山
- WHAT：ロービジョン支援ホームページの運用
- WHO：視覚障害に関心のある不特定多数の市民
- WHY：情報ゼロの状態の軽減。
- WHEN：24回/年
- WHERE：WEB
- HOW：既存のロービジョン支援ホームページを買い上げ運用する
<http://www.shikakuriha.net> の内容とリンクの更新
内容検討ワーキンググループによる話し合いを定期開催
特に介護と育児、災害関係を充実化する ナビタグも
WGメンバー 和田・小林晶・別府・他外部委員若干名
- HOW MANY：1回程度/月

シャルル・ボネ展

■担当：仲泊

■WHAT：シャルル・ボネ展

■WHO：一般

■WHY：視覚障害者の症状の一つである幻視（シャルル・ボネ症候群）についての啓発

■WHEN：2022年5月9日～27日

■WHERE：ビジョンパーク

■HOW：展示と作家の講演会 参加費無料

セアまり氏（作家・網膜色素変性患者）の幻視をモチーフとした作品を展示する

■HOW MANY：80名 x 15 = 1200名

- 担当：三宅
 - WHAT：日本眼科医会会員への情報処方
 - WHO：日本眼科医会会員
 - WHY：眼科医のロービジョンケアの知識向上、NVの認知度向上
 - WHEN：2122年1月以降
 - WHERE：日本眼科医会HP内
 - HOW：HP内でのロービジョンケア初心者の眼科医への手引き作成
おすすめリンク、アプリ紹介情報の提供
 - HOW MANY：適宜
 - HOW LONG（評価期間）：年度ごとの情報確認
- 成果目標：ダウンロード数 会員数の50%以上

視覚障害者体験VR研修

■担当：三宅

■WHAT：VR体験で視覚障害者の困難さ、配慮を学ぶ

■WHO：健常者、支援者

■WHY：視覚障害者の困難さが見えにくく、理解されにくいために当事者の社会的、心理的回復を阻害因子となる

■WHEN：年数回

■WHERE：アクティブエリア

■HOW：VRによる当事者体験、その後合理的配慮研修

■HOW MANY：年3回開催

■HOW LONG（評価期間）：年度毎の開催頻度の見直し

成果目標：参加者の多様性理解促進

行動目標：開催までのFB等による告知

公2-四 支援者向け体験事業 間接支援(個人への情報処方) 、継続支援企画
パッチアダムス招致企画 夢の病院からビジョンパークができるまで

■担当：三宅

■WHAT：ウェルビーイング医師パッチアダムスの哲学にケアの本質と対話法を学ぶ

■WHO：医療者、支援者

■WHY：未来医療に必要な困難者が社会的、心理的回復をする上で必要なマインドおよび対話スキルを学ぶ

■WHEN：研修依頼時

■WHERE：オンライン

■HOW：オンライン形式のワークショップ（1-3時間）

■HOW MANY：研修依頼時

成果目標：参加者の支援マインド・対話スキル向上、NVの認知向上

行動目標：年3回以上の開催

■担当：山田

■WHAT：大阪万博でナビ・タグを実装することでDXに必要なアクセシビリティな考え方を醸成し、インクルーシブな社会の実現を目指す。

■WHO：市民

■WHY：障害の有無、人種（母国語）、年齢、性別に関係なくすべての人が便利に楽しく暮らせる街（スーパーシティ）づくりを通じて、視覚障害、視覚障害者に対する理解を深める。

■WHEN：2021年4月神戸アイセンター（2022年神戸市、2025年万博）

■WHERE：神戸、大阪

■HOW：神戸市、神戸市交通局、神戸新交通などを通じて普及する。

■HOW MANY：神戸アイセンター及び周辺で40か所にタグを設置

成果目標：SNS等を通じた広報活動、大阪万博での実装、アクセシビリティ理解

向上を通じた支援者増

■HOW LONG（評価期間）：毎月、3年後

公2-五 出版事業

『プライベートあい ～名探偵になってあげないゾ！～』出版プロジェクト

■担当：福場・山田

■WHAT：小説あるいは漫画といった親しみやすい形で等身大の当事者を多くの人に感じてもらうこと、そして当事者の方に

てもらう。作家：福場将太
は「視覚障害者だからこそ優れている能力がある」というバリアバリューに気付いてもらう。

■WHO：10代の若い世代（特に女子）

■WHY：視覚障害者の困難さが見えにくく、理解されにくいため当事者の社会的、心理的回復を阻害因子となる

■WHEN：毎月

■WHERE：オンライン

■HOW：「小説家になろう」に公開 <https://syosetu.com/>

■HOW MANY：9千人

■HOW LONG（評価期間）：9か月

成果目標：読者の多様性理解促進

行動目標：掲載を継続しながら出版社へ売り込み、逆に人気がある小説は出版社からアプロ
一手があるのでSNS等

を駆使して宣伝。編集者の企画書作成、売り込みまでは無料。

2022年度：ばに一浦澤さんによる挿絵OK。

2023年度：出版社からのアプローチがない場合、もしくは小説出版やマンガ化の段階で買取の条件があれば助成金申請を検討。

ビジョパークを活かした情報発信

■担当：山田

■WHAT：ビジョパークスペース利用

法人格の区別なく、登録された団体・企業等が視覚障害者支援や情報発信に関連するイベントを行う際にビジョパークを使用する。

■WHO：登録された機関・団体

■WHY：情報ゼロの状態の軽減。

■WHEN：12回/年、終了予定なし

■WHERE：ビジョパーク

■HOW：登録団体・機関からの提案を受けつけ、内容を精査した上でビジョパークを有償にて貸し出す。

■HOW MANY：10～30人/回 年間120～360人

■HOW LONG（評価期間）：随時

法人事業（活動資金調達 寄付者・賛助会員等フォロー）
みんなで作るビジョンパーク会議

■担当：山田

■WHAT：活動報告、意見交換

NEXT VISIONの事業、ビジョンパークの運営を自分事としてとらえ、一体感を持って運営に参加する。

■WHO：寄附者・賛助会員・企業パートナー

■WHY：寄附者・賛助会員の主体性の向上、共創感の向上

■WHEN：1. 大感謝祭1回/年、2. 交流会6回/年（高額支援者向け×2、企業向け×2回、その他×2回）、
3. 神戸アイセンター病院での受付票ホルダー配布 通年 終了予定なし。

■WHERE：ビジョンパーク、Zoom

■HOW：1. 寄附・賛助会員・支援者への感謝を伝える会を開催し、意見交換を行う。

2. NEXT VISIONの活動を自分事としてとらえ、能動的に活動に参画する気持ちを高めるために交流会を開催。

3. 受付票を入れるホルダにisee!運動や発信したい情報のチラシを挿入し、これまでつながりのなかった患者層の新規開拓を図る。

■HOW MANY：合計2,620人（1. 100名、2. 20名×6回、3. 200名×12か月）

チーム特性

運営メンバーはiPS治療を行う臨床医としての高橋（眼科医）をはじめ、視覚障害者の社会研究の実践者である仲泊（眼科医）、就労現場や教育現場で多数の合理的配慮の実践事例を持つ三宅（眼科医・産業医）を中心に運営される。

また全盲の当事者でありテクノロジーの活用を実践する情報マスターがビジョンパークの運営スタッフであり、法人理事会は弁護士、柔道家・企業家、精神科医等は半数が当事者であり当事者の意見を反映させたプロジェクトの運営を可能としている。

優位性

神戸アイセンター構想は、最先端医療であるiPS細胞による再生医療を臨床医療、基礎研究を行う施設である。

医療特区に立地する市営病院であるため単一施設という高いアクセス性を確立して、臨床医療、基礎研究、情報支援にくわえて、製品や知財開発等も含めたこれまでの医療施設とは一線を画した協業プロジェクトを可能とする構造的利点を有している。

理事メンバー

代表理事 三宅養三 (眼科医)

元名古屋大学眼科学教室教授

理事 高橋政代 (眼科医)

株式会社ビジョンケア 代表取締役社長

網膜再生医療研究開発プロジェクト 客員主管研究員

神戸アイセンター病院 非常勤医師

京都大学大学院 医学研究科 連携大学院講座 客員教授

京都大学 iPS細胞研究所 アドバイザー

理事 中邑賢龍

東京大学 先端科学技術研究センター 教授 3/31付け辞任

理事 栗本康夫 (眼科医)

神戸アイセンター病院 院長

理化学研究所 網膜再生医療研究開発プロジェクト客員研究員

京都大学医学部 臨床教授

神戸大学医学部 臨床教授

理事 仲泊 聡 (眼科医)

理化学研究所 生命機能科学研究センター

網膜再生医療研究開発プロジェクト 研究員

神戸アイセンター病院 非常勤医師

東京慈恵会医科大学 眼科学講座 准教授

理事 大胡田誠 (弁護士・視覚障害者)

弁護士法人つくし総合法律事務所 東京事務所所属

理事 初瀬勇輔 (アスリート・視覚障害者)

株式会社ユニバーサルスタイル 代表取締役

NPO法人日本視覚障害者柔道連盟 理事

一般社団法人全日本テコンドー協会 理事

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事

理事 三宅 琢 (産業医、眼科医、コンサルタント)

東京大学 未来ビジョン研究センター 客員研究員

東京大学 先端科学技術研究センター 客員研究員

東京医科大学 眼科学教室 兼任助教

産業医科大学 作業関連疾患予防学 訪問研究員

一般社団法人産業医ラウンジ 理事長

理事 福場 将太 (精神科医・視覚障害者)

美唄すずらんクリニック 副院長

理事 白根 雅子 (眼科医)

公益社団法人日本眼科医会 会長

しらね眼科 院長

理事 若宮 正子

NPOブロードバンドスクール協会 理事、メロウ倶楽部 副会長、
熱中小学校教諭。エクセルアートの創始者。

理事 竹中 ナミ

社会福祉法人プロップ・ステーション 理事長

「チャレンジドを納税者にできる日本」をスローガンに、95
年よりチャレンジド・ジャパン・フォーラム (C J F) 国際
会議を主宰。

理事 原田 敦史

全国視覚障害者情報提供施設 理事

きんきビジョンサポート 事務局長

社会福祉士・歩行訓練士

顧問 金子 裕 (コンサルタント)

株式会社 Life Design Application 代表取締役

一般社団法人Artrates 代表理事

日本財団ボランティアサポートセンター アドバイザー